



Weekly Report

「ロータリーを通じて生まれる人との絆を大切に」

佐世保北ロータリークラブ 2019～2020 年度 RI 会長 / マーク・D・マローニー ガバナー/千葉憲哉

会長/蒲池芳明 幹事/村瀬高広 例会場/佐世保市上京町3番2号 セントラルホテル佐世保(毎週月曜日)
 創立/1984.4.16 認証/1984.5.14 事務局/佐世保市京坪町2番3号 Nビル3階 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201

E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本日】 会員数 45名 出席 29名 欠席 4名 出席規定免除会員(12) 出席 9名 出席率 90.48%
 【前々回】 会員数 45名 出席 27名 メークアップ 6名 出席規定免除会員(12) 出席 9名 修正出席率 100.00%

《第3回クラブフォーラム》

会員増強委員会 船津 学 委員長



会員が減少すると・・・

- 予算の減少
- 事業の縮小
- マンパワー不足
- クラブの活気、マンネリ化
- 次世代へのバトンタッチ
- その他



予算の減少、事業の縮小



マンパワー不足



クラブの活気、マンネリ化



佐世保北ロータリークラブ
 会員増強委員会
 第2回クラブフォーラム

令和2年2月3日
 会員増強委員会 船津 学



蒲池年度における会員増強について

○最重要項目『10名増による会員50名体制』



次世代へのバトンタッチ



その他、魅力がないと・・・



会員が減り続ける・・・

- ①会員を増やす
- ②退会会員の防止

ではあらためて、会員増強とは・・・



会員を増やす



退会会員の防止・予防



会員増強にご協力お願いいたします！

《会長挨拶》

蒲池芳明 会長



2月 は 平和 と 紛争 予防 ・ 紛争 解決 月 間 です。

また、2月23日はロータリー創立記念日となっています。

先週の次年度第6グループ緒方信行ガバナー補佐就任の激励会にお集まりいただいた会員の皆様ありがとうございました。緒方信行会員は大変でしょうが今後はガバナーの補佐役として業務を行う責任ある仕事を司る事になります。

緒方信行ガバナー補佐が担当される第6グループ内の各クラブを四年期に1度訪問される事で、各クラブの管理運営に意見を申されるとと思います。第6グループがどのように変わるか楽しみでもあります。今後のご活躍を期待申し上げます。

今日は節分です。節分は季節の始まりの日の前日の事、季節を分ける事を意味します。江戸時代以降は特に立春、毎年2月4日ごろの前日を指す場合が多いとされています。旧暦12月末日の大晦日、立春前日の節分はともに年越しの日を意識されていた事になり、今も節分を年越し(年取り)数え年とは生まれた日を1歳として誕生日に関係なく新年に皆様が年をとる。数え方が地域によってあるのはこの名残りであるとされています。

また節分と言えば恵方巻のことを思い出します。恵方は運のよい方角です。歳福神のいる方向、この方向に向かって事をする事はすべて吉とされています。今年は西南西より少し西との事で、恵方巻は7種類の具材が巻かれています。7という数字は7つの宝という意味で七福神の7人は縁起物として扱われます。つまり7つの具材を海苔でまく事で福を巻き込むという願いも込められています。皆さんも西南西に向かって無言で恵方巻を食して下さい。きっと願いも叶うと思います。

本日は第3回クラブフォーラムとなっております。会員増強委員会船津学委員長宜しく申し上げます。

《幹事報告》

村瀬高広 幹事



・ガバナー事務所

- ・ガバナー月信 2月号
- ・「平和構築と紛争予防月間」リソース

・ガバナーエレクト事務所

- ・2020～2021年度 地区名簿作成に伴うお願い
- ・2019～2020年度 地区ビジョン（戦略計画）に関するアンケート調査

・唐津RC

- メールアドレス変更のお知らせ
- 変更前) karaturc@iris.ocn.ne.jp
- 変更後) karaturc@vc.people-i.ne.jp

1. 例会変更

- 佐世保RC** 2月5日（水）12:30～
富士国際ホテル
- 佐世保西RC** 2月4日（火）12:30～
→18:30～セントラルホテル
（長寿会のため）
2月18日（火）12:30～
佐世保魚市場（株）（職場訪問のため）
- 佐世保東南RC** 2月19日（水）12:30～
平戸魚市場（職場訪問ため）

2. 来 信

- ・国際ロータリー
ザ・ロータリアン2月号
- ・国際ロータリー日本事務局
2月ロータリーレート 1ドル=110円
- ・公財) ロータリー日本財団
 - ・寄付者の皆様へ
[書簡]・確定申告用寄附金領収証・税額控除に係る証明書（裏面）
 - ・クラブ用（控）領収証一覧表
- ・公財) ロータリー米山記念奨学会
 - ・寄付金免税申告用領収証
[税額控除に係る証明書写し付]
 - ・寄付のお礼
 - ・免税領収証No.一覧表（クラブ控え）
 - ・新型コロナウイルス関連肺炎に関する注意喚起
- ・ロータリーの友事務所
ロータリーの友2月号

3. 伝達事項

- ①先週配布いたしましたガバナー事務所からの第2回アンケート調査にご協力をどうぞよろしくお願い致します。
- ② 事務局は2/7（金）お休みいたします。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願い致します。
- ③ 2/10（月）例会はゲスト卓話 朝長則男佐世保市長です。

《今月の誕生祝い》

- S. 28. 2. 1 東田賢二君 S. 33. 2. 12 田中幹人君
S. 49. 2. 2 松田亜由美君

《今月の結婚祝い》

- H. 6. 2. 11 永石浩一郎・みさ 夫妻

《委員会報告》

インターアクト委員会 鐘ヶ江和重 委員長

2月1日、2740地区2019～2020年度インターアクト委員会後期指導者研修会に参加いたしました。私と宮崎副委員長、佐世保高専より学生2人、森下先生の5名で参加しました。

内容は、後期指導者研修会テーマ「もっと知ろう、ロータリーの青少年ファミリーについて」で、参加校25校のうち22校の参加でした。

13時より、千葉憲哉ガバナーの挨拶で始まり、インターアクトクラブ代表者による発表2校、参加国際青少年交換留学生による発表2名、ROTEXによる発表2

名、米山記念奨学生による発表2名、ローターアクト代表者による発表1名、森恵美様の講演(みんなで楽しみましょう)があり16時30分に終了しました。

ロータリー情報委員会 松田信哉 委員長

2月8日(土)の家庭集会へご参加の皆様よろしくお祈りいたします。永田会員よろしくお祈りいたします。峯会員のお話にも期待しております。

なお、烏帽子までの車の手配ですが、17:30に永田会員のドコモショップから何台か車の手配をいたします。

今週中に、参加の皆様へ再度ファックスにてご案内いたしますので、宜しくお願いいたします。

緒方信行 次年度ガバナー補佐

次年度ガバナー補佐激励会開催についてのお礼。

松尾重巳 次年度幹事

「補助金管理セミナー」出席報告。

2020年2月2日13:30より東彼杵総合会館にて、近藤竜一次年度会長、三谷秀和次年度ロータリー財団・米山奨学委員会委員長、松永祐司次年度社会奉仕委員会委員長、松尾重巳次年度幹事の4名で参加してきました。

補助金の仕組みと補助金申請に際しての資格と期限について勉強してきました。補助金の申請期限が4月末日迄なので、早急に内容等を関係者で詰めてまいります。皆様のご協力をよろしくお祈りいたします。

近藤次年度会長、昨日のお昼ごちそうさまでした。

.....

《来訪ロータリアン》

ありません。

.....

《玄海原子力発電所見学研修報告》

玄海原子力発電所見学研修の感想

2年 江口彩花

私が玄海原子力発電所を見学して考えたことが2つあります。

1つ目は、安全対策についてです。私は今回の見学に行くまで、原子力発電は危険なイメージがありました。それはおそらく2011年に起きた福島第一原子力発電所事故の印象が強いからだと思います。私は、当時小学校低学年だったため、中学校の発電所について調べる授業で初めて事故の内容を知りました。しかし、私はその時インターネットで調べていたため、原子力

発電そのものが危険なものだという記事を信じました。きっとメディアによって、原子力発電そのものが危険で原子力発電所は減らすべきだと考えてしまっている人々も多いのではないかと思います。しかし、私は今回の玄海原子力発電所見学で努力と時間をかけた、たくさんの安全対策を見てきました。発電所を地盤の上に直接立てて地震に強い造りにしても、制御棒や水素爆発を阻止する機械などを備えていると聞いて驚きましたが、玄海エネルギーパークのガイドの方にもっとたくさんの設備があることを知ってさらに驚きました。きっと今回の玄海原子力発電所見学研修に参加することがなければ、このような万が一の方が一にさらに万が一以上もの安全対策を見ることはなかったと思います。これを私は今回参加できなかった学生に教えてあげたいと思います。

2つ目は、原子力発電によって生じる最終廃棄物についてです。玄海原子力発電所では発電の燃料として使い終わったウラン燃料からプルトニウムを取り出し、燃えにくいウランなどと混ぜて作った燃料を使用していると知りました。これを燃やすことをプルサーマルといい、資源の少ない日本にとって再利用出来るというのは素晴らしい発明だと思いました。しかし、それでも最終的には何パーセントかの高レベル放射性廃棄物が発生してしまうのも事実です。私は物質工学科という化学と生物を専門に勉強しているため、たくさんの放射性物質を埋設処分しなければならないというのはこれから考えていかなければならない課題だと感じました。

私は今回の研修で、これからのエネルギー問題を考える新たな知識を得ました。これからもこのような研修があれば積極的に参加したいと思います。

玄海原子力発電所見学研修に参加して

2年 吉富紗香

私は、原子力発電所という全く馴染みのない場所を見学できる機会なんて滅多にない、という理由で参加しました。原子力発電所といえば、福島原発事故が一番の印象で、あまりいいイメージはありませんでしたが、着いてすぐに玄海原発の構造や事故を踏まえた安全対策などを詳しく説明して下さり、中でも安全対策の面では特に力を入れているのが伝わりました。電気という、ライフラインを背負った仕事をされているという責任と、徹底した安全に対する工夫や努力のもとに、自分たちの快適な生活が成り立っているのだと感じました。

そのあと、玄海エネルギーパークで原発の模型やさらに詳しい発電の方法などを学ばせていただいて、その規模を実感することができました。物質工学科に在籍しているため、授業などで習ったことはありましたが、やはり聞くのと実際に見るのとでは全然違うなと思いました。また、玄海原発では安全のほかに環境にも

配慮した工夫もされていることを知り、見学を通して何度も感じたことですが、本当に凄いなと思いました。ほとんど予備知識のないままに見学したので、見ること、聞くこと、知ることどれもが初めてでただただ圧倒されました。バスからではありませんが、原子力発電所を間近で見ることができ、まずはその敷地の広さに驚かされました。想像では、無味乾燥というか、建物ばかりだと思っていたのですが、桜が植えられていたりしていて、原発の前には温室もあって良い方向に予想を裏切られました。そして、資料で学んだことも肌で感じる事ができて本当にいい経験になりました。最後には、点検や訓練に関することまで教えて下さり、本当の意味で、玄海原発及び原子力発電所というものを僅かながら知れたのではないかなと思いました。原子力発電所はいろいろな場で話題に上がり、そのリスクばかりに目を向けていました。しかし、今回の見学研修でメリットとリスクの両方を学び、できる限りの安全対策に尽くされている姿勢を見て、絶対の安全は約束されないにしても、何も知らずに否定することは間違っていると考えさせられました。この考えを持ってただけでも、原子力発電について知る機会に恵まれたことは本当に良かったと思います。実際に見て考えることの大切さを学ぶことができました。ありがとうございました。

玄海原子力発電所見学研修報告書

3E 小川太誠

私たち佐世保高専インターアクトクラブは令和2年1月18日(土)に玄海原子力発電所の見学会を実施しました。まずは今回の見学会を計画、支援頂いた佐世保北ロータリークラブの皆様にお礼を申し上げます。この様な大変貴重な機会に恵まれ改めてインターアクトクラブに参加して良かったと感じた次第です。今回見学させて頂いた玄海原子力発電所には、私が唐津市出身ということもあり小学生時代に何度か訪れた経験があったのですが、幼かった当時と比べ知識や教養を身に着けた今では感じ方に大きな違いがありました。正直に言うと小学生の私は原子力発電所というものに興味がありませんでした。家族で訪れたことも何度かあったのですが、その目的は玄海原発の敷地内にある遊具やイベントがほとんどでした。しかしながら現在は佐世保高専の電気電子工学科に所属する身であるため発電技術について興味がありますし、福島第一原発事故のこともあり安全対策にも当然関心がありました。そういう中で見学してみて印象的だった内容を2点上げたいと思います。

1つは徹底された安全対策です。玄海原発では五つの段階に応じた対策をとっており、福島原発事故の問題点をよく抑えた安全対策だと思いました。私の実家は玄海原発で事故が起きた場合に避難しなければならない地区なので今回の見学で随分安心できました。

2点目は原子力発電のメリットです。原子力発電といえば実際に国内で事故が起きていることもありマイナスな印象が一般的だと思います。しかしながらデメリットばかりでなくメリットもあるわけです。主なメリットとしては安定して大量の電力を供給可能で、発電量当たりの燃料単価が安いので経済性が高いことや、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が極めて少ない事などがあります。このようにメリットもある中で、危険性の高さはほかの発電方法とは比べものにならないレベルで、放射性廃棄物についての問題などもあります。しかし見学を通して、それでも私は原子力発電が日本には必要であると思いました。現在の原発以外の発電システムだけでは将来的には電力が不足することになりますし、水力発電や火力発電については環境や資源への問題もあり安易にこればかりに依存するのは危険な事のように感じます。そのため今回見学した玄海原発のように十分な安全対策がなされているのであれば原子力発電に賛成というのが見学を終えた私の意見です。

今回の見学では今まで行ったことがなかった奥まで見学することができ、さらに知見を広げることができました。このような機会を大切に今後もインターアクトクラブとして楽しく活動していきたいと思えます。

玄海原子力発電所見学を終えて

電気電子工学科 3年 鳥巢総一郎

今回の玄海原子力発電所見学では日頃の学校生活では見ることのできない所をたくさん見ることができ、とても興味を惹かれました。

僕はとても大きなウラン燃料を原子炉に入れて核分裂させているのかなと思っていたのですが、8mm×11mmのペレットと呼ばれる低濃縮二酸化ウランを1機当たり約1,620万個入れて発電しているということを知り、素直に驚きました。これも安全のために1年に1回定期検査時に約3分の1を新しい燃料に取り替え、取り替えた燃料もモックス燃料として再利用している事を知りました。万が一の事故が起きない限り、二酸化炭素の排出量が火力発電と比べ極めて少ないことや、酸性雨や光化学スモッグなどの大気汚染の原因となる酸化物を排出しないので環境に優しいということがわかりました。

正直なところ、福島原子力発電所の事故後のメディアでの原子力発電に対する様々な報道を見て、見学に行く前までは「本当に安全なのだろうか」と思っていたのですが、厳しい安全基準や訓練を設け、多重防護を基本とし「機械は故障し、人はミスを犯すもの」という考えのもと、非常事態に備えていることがわかりました。

福島原子力発電所では予備電源やポンプが使用不可になり核燃料を冷却できずにあのような事故に繋

がったということで、玄海原子力発電所では移動式大容量発電機や移動式の大容量ポンプ車、原子炉建屋が破損しないように破損しないために建屋内の圧力を下げる装置などで対策を行なっているということがわかりました。

1、2号機は約30年かけ解体され、また今後3、4号機も解体される時がくると思うのですが、その際にかかるコストやリスクなどを含めると他の発電と比べてどちらの方が人間や他の生物、地球に優しいのだろうかという疑問が生まれました。

今回の玄海原子力発電所見学では、日頃の高専生活では見ることのできないスケールの施設や考えることのないような事を考えさせられる機会になり、とても良い体験になったと思います。今後の学校での勉強にも役立てていけたらなと思いました。

このような素敵な機会をくださり、ロータリーの方々本当にありがとうございました。



《ニコニコボックス》

渥美大介 親睦活動委員



蒲池芳明 会長 藤井良介 副会長 村瀬高広 幹事

1月31日の緒方ガバナー補佐激励会、盛り上がりましたね。緒方会員頑張ってください。発起人の皆様ありがとうございました。

2月1日に開催されたインターアクト後期セミナーに参加の皆様お疲れ様でした。

蒲池年度もあと5ヶ月です。皆様引き続きよろしくお願い致します。

緒方信行君

先日は、次年度のガバナー補佐激励会に多くの会員の皆様のご参加をいただき、心より感謝申し上げます。ガバナー補佐として微力ではございますが、精一杯努力していくつもりです。

今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。

船津 学君

本日は、会員増強委員会によるクラブフォーラムです。皆様の活発なご意見、よろしくお願い致します。

豊島揆一君 福田俊郎君 平石晃一君 永田武義君
 富田耕司君 中島閏二君 宮原明夫君 峯 徳秀君
 牧野博一君 渡会祐二君 松田信哉君 松永祐司君
 小川 寛君 近藤竜一君 松尾重巳君 田島 慎君
 西沢 寛君 八木順平君 小西研一君 中川信次君
 渥美大介君 戸畑教幸君 早田貴志君
 ニノ宮 健君 松田亜由美君

本日の卓話は、会員増強委員会による第3回クラブフォーラムです。「会員増強と会員の退会防止策をどう考える」です。会員皆で考えましょう。

本日の合計	36,000 円	累計	998,000 円
-------	----------	----	-----------

IT 会報委員会 委員長 / 田島 慎 委員 / 平石晃一 中島閏二 中川信次 (記事担当 田島 慎)